

輸送動向について(1月分)

平成21年2月

1. 輸送概況

今月は、下旬に武蔵野線での信号トラブルおよび東海道・山陽線での人身事故による輸送障害が発生し、月全体では高速貨22本、専貨2本が運休した。

荷動きについては、全世界に広がった景気後退の影響を受け、年末年始の休業の拡大など製造業の減産体制が一段と強化されたほか消費の冷え込みもあり、前月に続いて前年を大きく下回った。

品目別に見ると、コンテナ貨物は、食料工業品が唯一前年を上回ったものの、自動車部品、化学工業品、化学薬品、紙・パルプなどが前年を大きく下回り、全体では前年比85.8%となった。食料工業品は需要が底堅い食品や清涼飲料水が堅調な出荷となった。一方、自動車部品、化学工業品、化学薬品、紙・パルプなどは売り上げ減への対応および適正在庫水準に向けた減産体制の拡大が続き、大きく減送となった。

車扱貨物は、石油、セメント・石灰石などすべての品目が前年を下回り、全体では前年比91.1%となった。石油は価格の下げ止まりにより、灯油、揮発油が堅調な出荷ペースとなったものの、工場生産活動の減速の影響も受けた重油が減送となり、石油全体ではわずかながら前年を下回った。また、セメント・石灰石は定期修理時期の変更および工場の減産により減送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,504	1,753	85.8%	18,945	19,326	98.0%
車 扱	1,059	1,162	91.1%	9,043	10,416	86.8%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	179	188	-9	95.2%
	化学工業品	135	164	-29	82.3%
	化学薬品	103	133	-30	77.4%
	食料工業品	209	206	3	101.5%
	紙・パルプ	246	310	-64	79.4%
	他工業品	114	142	-28	80.3%
	積合せ貨物	168	186	-18	90.3%
	自動車部品	46	73	-27	63.0%
	家電・情報機器	28	29	-1	96.6%
	エコ関連物資	31	34	-3	91.2%
	その他	245	289	-44	84.8%
	コンテナ計	1,504	1,753	-249	85.8%
車 扱	石油	771	777	-6	99.3%
	セメント・石灰石	93	123	-30	75.5%
	車 両	117	121	-4	96.4%
	その他	78	141	-63	55.4%
	車 扱 計	1,059	1,162	-103	91.1%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)